

横浜市の生理用品ギフト・アンケートによる
コロナ下 女性の困りごと
調査報告書



2022年3月

公益財団法人横浜市男女共同参画推進協会

= 目 次 =

I.調査概要.....	1
1. 調査の目的.....	2
2. 調査実施方法.....	2
3. 調査対象.....	2
4. 調査期間.....	2
5. 有効回答数.....	2
II.調査結果.....	3
1. 回答者の年代.....	4
2. 2021年の年収（手取り）.....	4
3. 働いている状況.....	5
4. 世帯の状況.....	5
5. 生理用品購入時の苦勞について.....	6
6. 現在生活の中で困っていること.....	9
7. とくに困っている状況・生理用品が購入しづらい状況、ほしいサポート.....	11
8. 婦人科系の悩みの内容.....	15
9. 婦人科系の不調の悩みの相談先.....	18
10. 企画の認知経路.....	20
11. その他ご意見など（自由回答）.....	22
◎ 実施担当者所感.....	25
III.資料.....	26
1. 申し込みフォーム.....	26
2. メディア掲載一覧.....	29
3. タウンニュース 2022年1月13日（折込およびウェブ）.....	30

◎このギフト企画は社会福祉法人横浜市社会福祉協議会との協働事業として、みなさまからの100万円を超えるご寄付を原資に実施。応募時にアンケートにお答えいただいた441名の横浜市女性に、生理関連用品(洗濯して繰り返し使用できる吸水ショーツ)を、郵送でお届けしました。

I .調査概要

1. 調査の目的

コロナ下で生活困難をかかえる横浜市在住の女性を支援するため、生理関連用品のギフト企画を行うとともに、アンケートを実施し、女性が困っていることについて生の声を収集・発表するための資料とする。

2. 調査実施方法

「生理関連用品ハッピーギフト」の告知ページに google form によるアンケートフォーム(P.26)を設置し、応募時にアンケート調査への回答を必須とした。

3. 調査対象

横浜市在住、10代～50代で、2021年の手取り年収が250万円未満の女性

4. 調査期間

2021年12月15日～2022年1月25日

5. 有効回答数

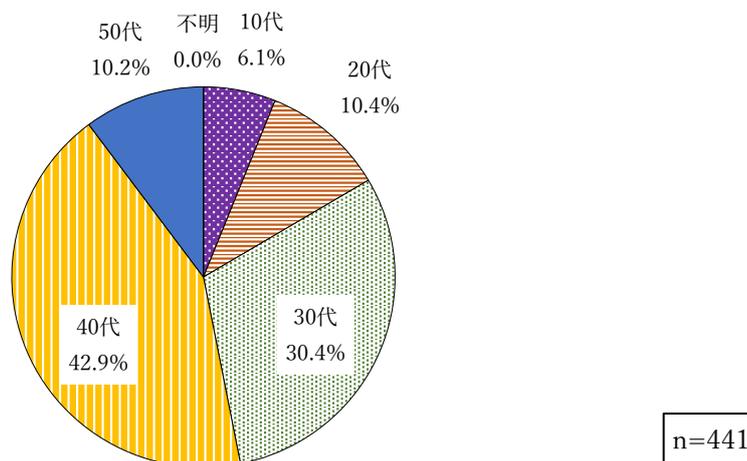
重複回答などを削除した結果、441名の有効回答を得た

II. 調查結果

1. 回答者の年代

回答者の年代を10代～50代で質問している。その結果をみると、「40代」が42.9%で最も高く、次いで「30代」の30.4%が高く、30代～40代で回答者の7割余りを占めている。

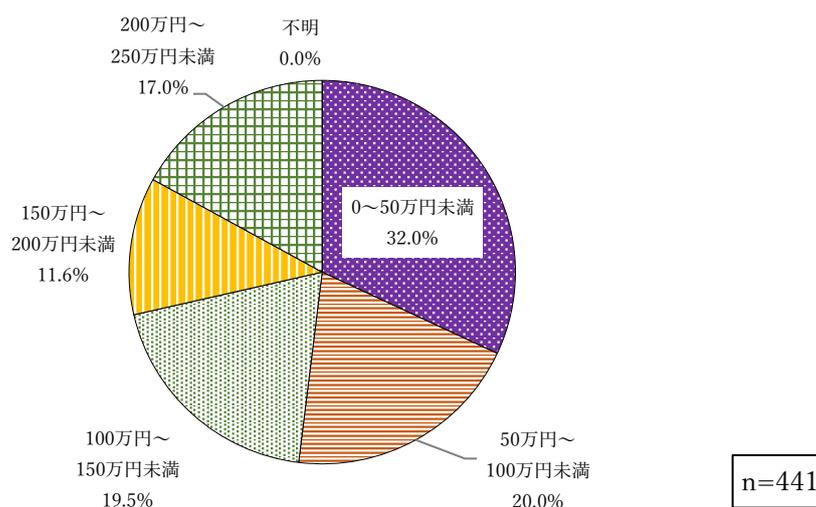
図表 1：あなたの年代を教えてください



2. 2021年の年収（手取り）¹

回答者自身の年収は、「0～50万円未満」が32.0%で最も高い。次いで「50万円～100万円未満」（20.0%）、「100万円～150万円未満」（19.5%）で、過半数が100万円未満となっている。

図表 2：あなたの2021年の手取り年収を教えてください

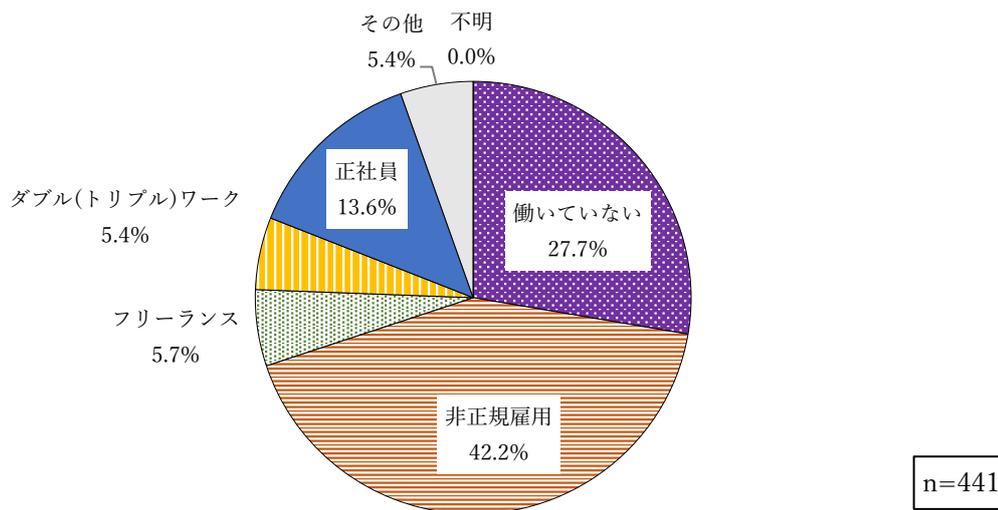


¹ 今回の企画は、コロナ下で生活困難をかかえる横浜市在住の女性を対象としているため、手取り年収 250 万円を超える場合は対象外としている。また質問しているのは本人の年収であって、世帯年収ではない点には注意が必要である。

3. 働いている状況

回答者の働く状況では「非正規雇用」が42.2%で最も高く、次いで「働いていない」が27.7%となっている。これに対して「正社員」は13.6%と低い。また、「その他」には生徒や学生も含まれている。

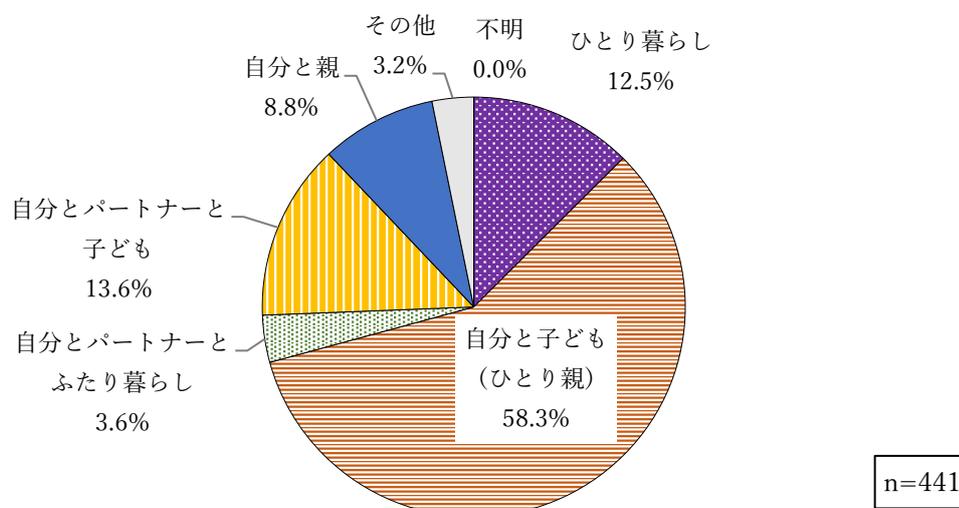
図表 3：あなたの働く状況を教えてください。



4. 世帯の状況

世帯の状況は「自分と子ども（ひとり親）」が58.3%で最も高く、全体の6割近くを占めている。

図表 4：あなたの生活している世帯の状況を教えてください

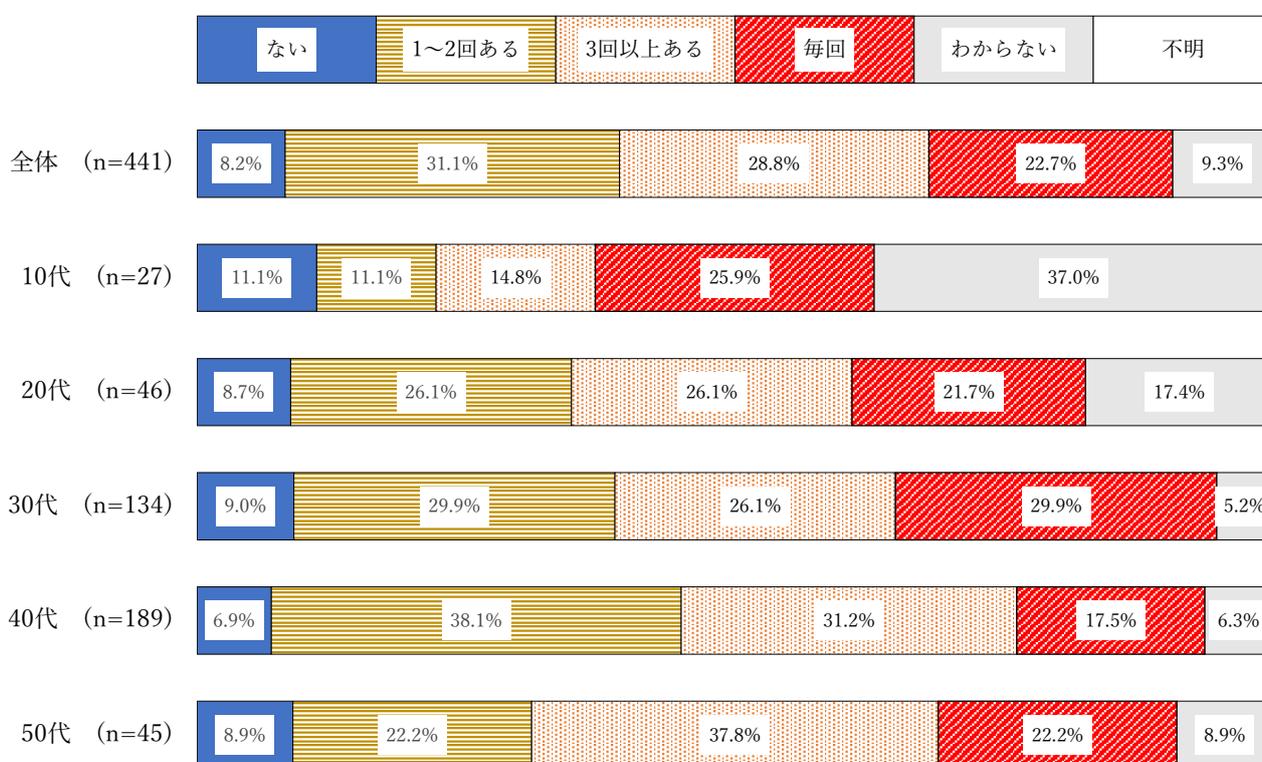


5.生理用品購入時の苦勞について

生理用品の購入で苦勞した経験については、「1～2回ある」、「3回以上ある」、「毎回」を合計すると、82.6%と8割以上が苦勞した経験があると回答している。そのうち「毎回」は22.7%であり、回答者の2割以上が毎回何らかの困難を抱えている。これに対して「(苦勞したことが)ない」は8.2%(1割以下)と少なくなっている。

年代別でみてもいずれも「毎回」は2割前後から3割前後と高い。「ない」は1割前後である。「10代」では「わからない」も高いが、これは回答者に生徒・学生が含まれており、保護者が購入しているなどが含まれていると推測される。

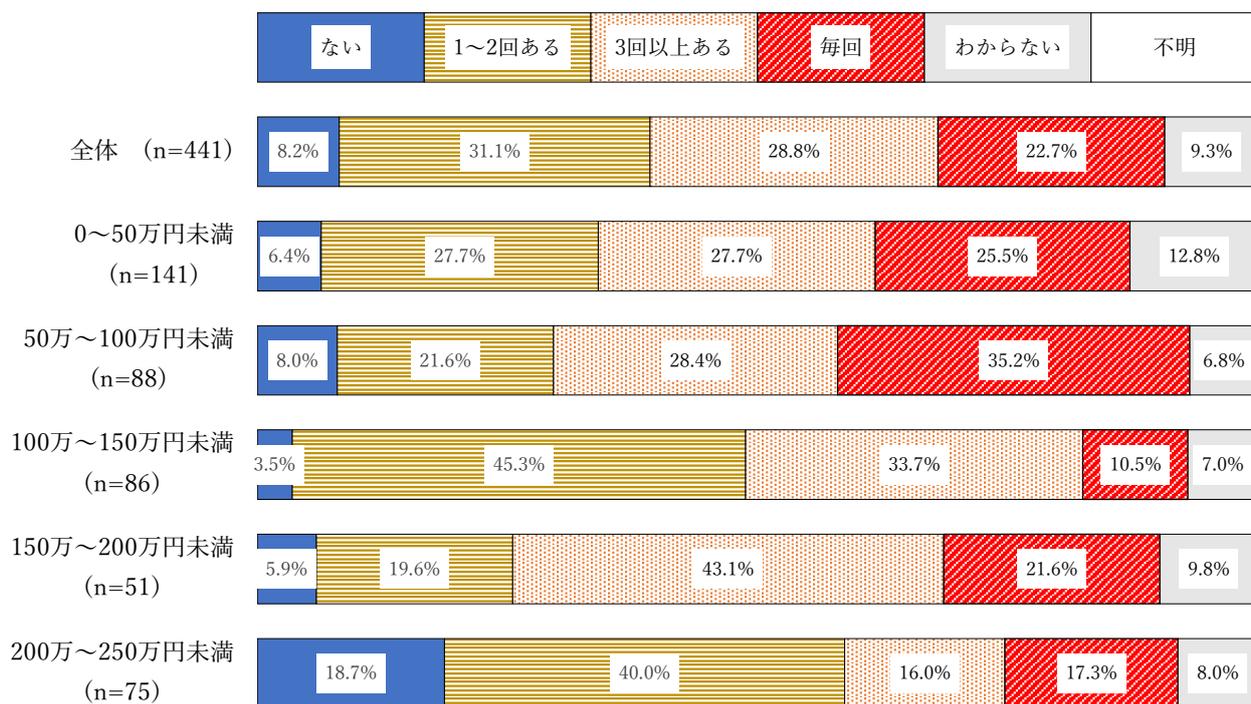
図表 5：生理用品を買うのに苦勞したことがありますか（年代別）



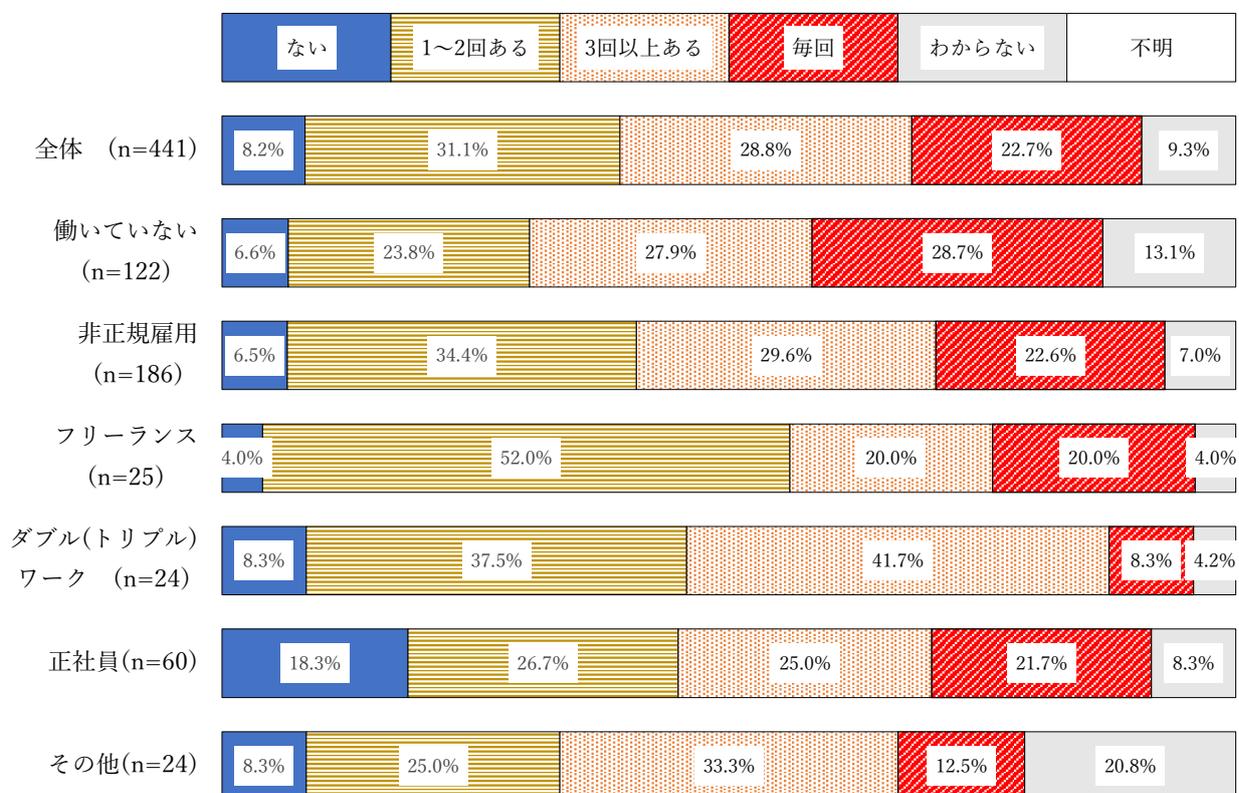
年収別でみると、「200万～250万円未満」で「ない」が18.7%と他の年収より高いが、それでも7割以上は生理用品の購入に苦勞した経験があることがわかる。「200万～250万円未満」を除く年収では「ない」の割合を「毎回」が上回っている。(図表6)

働いている状況別では、「正社員」で「ない」が18.3%と他の属性より高いが、それでも7割以上は生理用品の購入に苦勞した経験があることがわかる。「正社員」を含む属性で、「ない」の割合が「毎回」と等しいか上回っている。(図表7)

図表 6：生理用品を買うのに苦労したことがありますか（年収別）



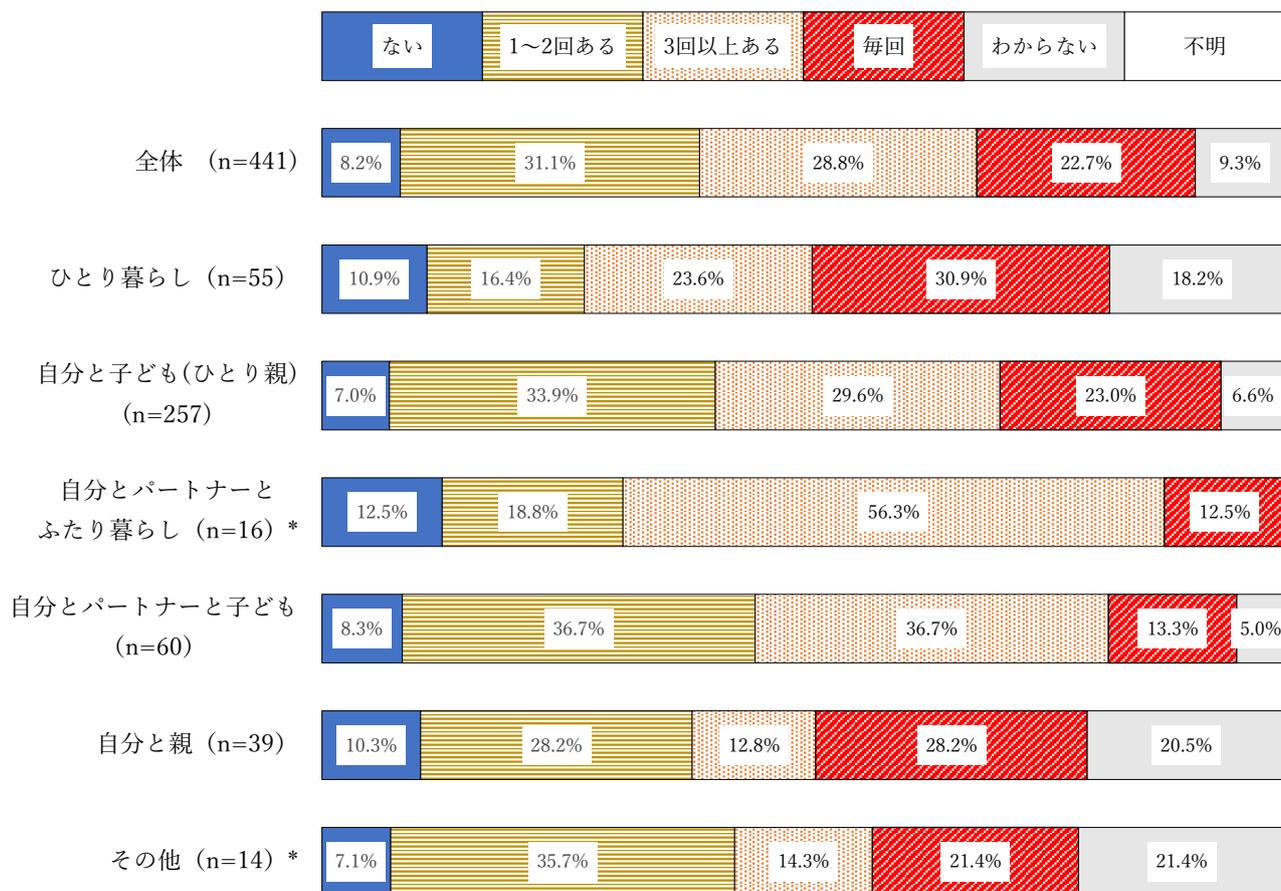
図表 7：生理用品を買うのに苦労したことがありますか（働いている状況別）



世帯の状況別では、生理用品を購入する際の苦勞が「毎回」が最も高いのは、「ひとり暮らし」の30.9%である。これに対して、「自分とパートナーと子ども」では「毎回」は13.3%と1割未あまりと低くなっている。

「ない」の割合はいずれも高くても1割前後で、多くの属性でも9割前後が生理用品を買うのに苦勞していることが分かる。

図表 8：生理用品を買うのに苦勞したことがありますか（世帯の状況別）

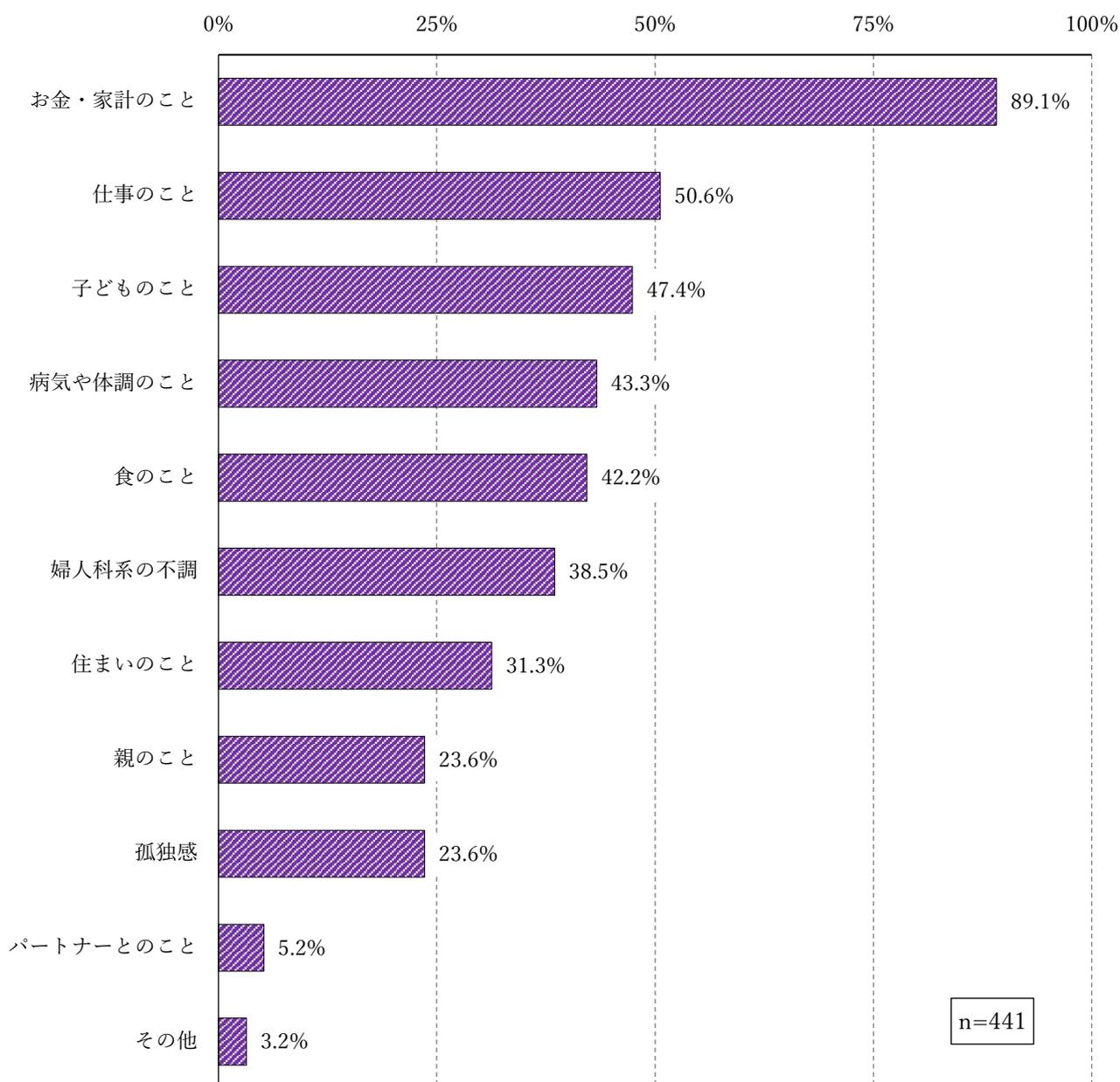


*印の項目は、回答数が少ないので注意が必要

6.現在生活の中で困っていること

生活の中で困っていることは、「お金・家計のこと」が 89.1%で最も高い。次いで「仕事のこと」が 50.6%で経済状況に関する項目が高い。また「子どものこと」(47.4%)も半数近く、「病気や体調のこと」(43.3%)も 4 割を超えている。

図表 9：現在生活の中で困っていることは次のどれでしょうか。(複数可)

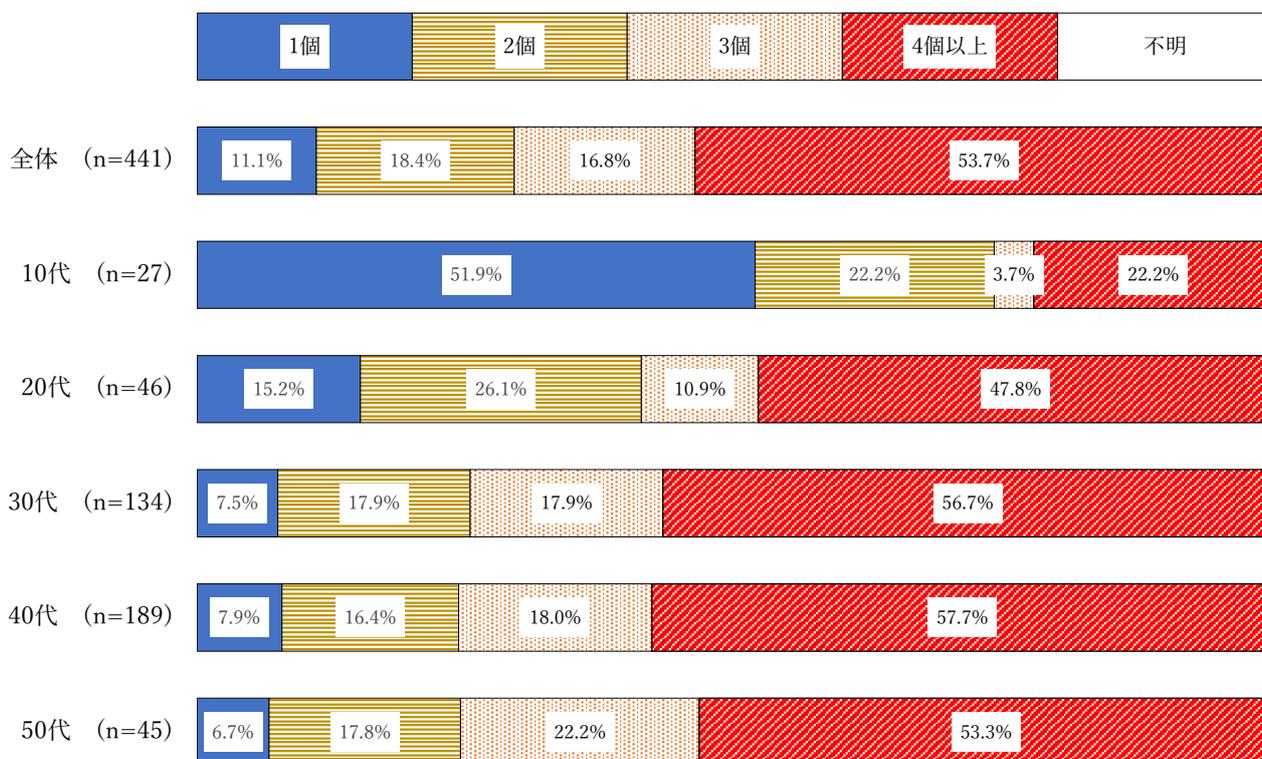


回答者一人ひとりが「困っていること」の何項目を選択したかを見ると、全体では「4項目以上」が53.7%と過半数となっており、これに「3項目」の16.8%を加えると70.5%と7割となっている。ここから、回答者の多くが重層的な困りごとを抱えていると見ることができる。

困っていることを選択数を年代別で見ると、「10代」では「1個」が51.9%である。これに対して、「20代」では「4個以上」が半数近くとなり、30代以上では過半数となり、「3個」を合わせると、7割以上と高い割合となっている。

このように年齢が高いほど、「困っていること」の数が増える傾向にある。しかしながら「10代」であっても半数近くは2個以上の困りごとを抱えており、課題の大きさを示している。

図表 10：現在生活の中で困っていることは次のどれでしょうか。(複数可)【選択項目数】



7.とくに困っている状況・生理用品が購入しづらい状況、ほしいサポート

生活でとくに困っている状況等について、自由回答で質問している。図表9のとおり「お金・家計のこと」に関する困りごとが多い。

<主な自由回答> (抜粋)²

① お金・家計のこと

- ・ アルバイトをしてもその収入だけでは生活がきびしいと感じることが多々ある。使用期限の迫った日用品や食料品、生理用品等を支給するようなサービスがあると、とても楽になると思う。(10代・非正規雇用・0～50万円未満)
- ・ 母子家庭で、生理用品も2人分なので母が大変だと思う。(10代・働いていない・0～50万円未満)
- ・ 食費を抑えるためにお肉や魚をあまり買わないので栄養面が心配。(20代・その他・0～50万円未満)
- ・ 子どもを預ける所がなく、職を探したくても探せないので保育園も入れていない。夫の給料だけでカツカツだが生活はできている。子宮筋腫があり、多月経なので日中も夜用ナプキンしか使えず、替える頻度も高いので生理用品にかけるお金も多くなる。働いていないので夫の給料で買うのが申し訳なく思うことが多い。(20代・働いていない・0～50万円未満)
- ・ コロナ禍で夫の収入が減り、小さな子どもがいるので自分が働くことも難しく、金銭面で困っている。(30代・働いていない・0～50万円未満)
- ・ 毎月来るものなので定期的に生理用品を購入しなければならないが生活が苦しく、私しか使用しないので後回しになってしまう。(30代・非正規雇用・100万～150万円未満)
- ・ 収入が変わらない中、以前はなかったマスクなどの衛生用品の購入、食品や公共料金の値上げが相次ぎ、生活がきびしくなっている。(30代・非正規雇用・200万～250万円未満)
- ・ 旅行業で仕事が激減し、自分のための生理用品は買いつらい。(30代・非正規雇用・100万～150万円未満)
- ・ 家賃や食費、学費で家計はきびしい状況。生理用品は、安い時に買うように心がけてはいるが、いつも安く買えるわけではなく、負担になることも。(30代・非正規雇用・200万～250万円未満)
- ・ 現在育児休業中で、世帯は非課税。長女も初潮を迎え、私と2人分となると経済的にきびしい。(40代・正社員・0～50万円未満)
- ・ 本当に貧困家庭で、100円均一などを利用して家計を浮かせている。(40代・非正規雇用・50万～100万円未満)
- ・ 学費も食費も固定費もかかるものはかかるのに、収入はコロナの影響で減り、増えることはない。部活動の用品や遠征費もかさむ。補助など使えるものは使わせて頂いているが、それでもキツイ。学校に関わる部分を、もう少し手厚くして頂きたい。(40代・正社員・200万～250万円未満)

² 自由回答の後のカッコ内は、回答者の属性を年代、働いている状況、手取り年収を表している。以下同じ。

② 仕事のこと

- ・ アルバイト探し。(10代・働いていない・0～50万円未満)
- ・ 非正規雇用のため賃金が低く、今後の生活に不安。(20代・非正規雇用・200万～250万円未満)
- ・ 対人関係が難しいので、家で自分のペースでできる仕事が見つからない。(30代・働いていない・0～50万円未満)
- ・ 体調がよくなく、仕事を続けづらい。そのため金銭面もきびしい。
(30代・働いていない・0～50万円未満)
- ・ コロナで職を失い、新しい仕事も見つからない中、最低限の生活費もギリギリで生理用品の購入は毎回悩んでしまう。無収入や低収入の女性向けに、無料配布などのサポートがあると助かる。
(30代・働いていない・0～50万円未満)
- ・ 仕事はパートで学習教室に勤めているが、コロナ禍で学校が休校になると教室も休みになる。休みになった日のお給料は支給されないし、給与保障もほぼないので、いつもビクビクしている。子宮筋腫を患っている上に、閉経前で周期が不安定で、おまけに経血が多いため生理用品にかかるお金は結構な額になる。(40代・非正規雇用・100万～150万円未満)
- ・ コロナで仕事がなかなかできない。営業だが、会社から在宅と言われている。在宅で営業は限界があり、去年はボーナスも0だった。会社員でもかなり給料ダウンしているので、生活に困っている。
(40代・正社員・100万～150万円未満)
- ・ 自分の気質で合う職場があるか不安。(40代・働いていない・100万～150万円未満)
- ・ 精神疾患があるひとり親。仕事選びや「配慮して欲しいこと」があるのでなかなか仕事が定着しない。定着しないので、常に収入が不安定。子どもが大学受験でお金がかかるので、フードバンク等で食料を補填させていただきながら生活している。(40代・非正規雇用・50万～100万円未満)
- ・ コロナで仕事が減り、現在は月1回あるかないか。先々を考えると不安になる。今は夫の収入に頼っているが、支出をできるだけ抑えたいと、生理用品は必要最小限の使用に努めている。
(40代・フリーランス・0～50万円未満)
- ・ コロナの影響で仕事をなくし、収入が絶たれた。マスクやナプキンを買えず内側にティッシュを重ねて使い回してしのいでいて、衛生面で不安。(50代・働いていない・0～50万円未満)
- ・ 仕事がコロナの影響で2ヶ月半休みになったり、再開後もシフトが削られてしまった。ずっと収入が減ったままなので、現在住宅確保給付金を頂きながら、新しい仕事を探している。常に不安と焦燥感に駆られ、夜も寝付けずにいる。(50代・ダブル(トリプル)ワーク・200万～250万円未満)

③ 子どものこと

- ・ コロナで子どもの保育園が休園になると仕事に行けないので、生活ができなくなる。予定していた収入が入らないのは本当に困る。(20代・非正規雇用・100万～150万円未満)
- ・ 下の子が持病持ちでまだ小さいので、保育園になかなか登園できないのと、正社員の仕事がなかなか決まらないので生活が苦しい。自分の生理用品を買う余裕がないが、上の子がそろそろ初潮を迎えそうなので、不安だ。(30代・非正規雇用・50万～100万円未満)
- ・ 子どもに習い事をさせてあげたいが、送り迎えの面や費用の面でやりたいことをさせてあげられない。(30代・フリーランス・100万～150万円未満)
- ・ 子どもの学用品や洋服等、見た目で見えなくとも優先に支出されてしまう。(40代・非正規雇用・100万～150万円未満)
- ・ 高校生の子の私立高校推薦が決まり、離婚。私立無償化と言うが、本当に色々かかる。前年度で見るので入学金も普通にかかり、私立高校は指定の物が多く、部活も出費がある。私自身体調を崩し入院してしまい、思うように働けず。なんらかの支援があれば受けたい。(40代・非正規雇用・100万～150万円未満)
- ・ 難病を抱えている息子の命と闘っている。これからの生活をいかに息子のために食や生活を整えていくか。たくさんの夢や希望を叶えてやれる自分でありたく、挑戦し続けるには健康でなければならないと思い、立ち向かっている。(50代・ダブル(トリプル)ワーク・150万～200万円未満)

④ 病気や体調のこと

- ・ ストレスから抜け毛が治らず相談しにくい。検診になかなか行けない。生理用品は費用もかさみ、今後娘も必要になるので、定期的に補助があるとありがたい。(30代・非正規雇用・100万～150万円未満)
- ・ うつで働けなくなり体力もかなり落ちている。その他体調も良くなく、薬の量が増えている。(40代・働いていない・100万～150万円未満)
- ・ 体調が悪くなり、病院で受診を希望しても、たらい回しにされてなかなか診察してもらえない。(50代・正社員・0～50万円未満)

⑤ 食のこと

- ・ 食べ盛りの息子が4人いて、買って買ってすぐなくなり、足りないと言われる。非常食とかではなく、お米とか頂けると嬉しい。(30代・働いていない・0～50万円未満)
- ・ 子どもの食費にかけてあげたいので、そっち(生理用品)まで手が回らないことがある。食のサポートももっとやってほしい。(40代・働いていない・0～50万円未満)

⑥ 婦人科系の不調

- ・ 生理不順でも婦人科にかかるお金がない。(20代・非正規雇用・100万～150万円未満)
- ・ 婦人科系のことでホルモンバランスが乱れやすい。(20代・働いていない・0～50万円未満)
- ・ 婦人科系の不調にて体調を崩している。(40代・働いていない・0～50万円未満)
- ・ 更年期が近づいているのか、体調不良の日が続いている。フルタイムでの勤務もキツイが、ひとり親のため辞めるわけにもいかない。(40代・正社員・200万～250万円未満)

⑦ 住まいのこと

- ・ 障害年金を受給しているが、アパートを借りられない。(30代・働いていない・0～50万円未満)
- ・ 元夫の両親から嫌がらせを受けているので引っ越したいが、資金や連帯保証人がいない。自身の年収が低くひとり親ということから叶わない。元夫から養育費も受け取れていない。(30代・非正規雇用・100万～150万円未満)
- ・ 今の住まいが湿度 94%にもなり、カビ対策が大変で市営住宅には落選。今年は更新前に引越し検討中である。(40代・ダブル(トリプル)ワーク・100万～150万円未満)

⑧ 親のこと

- ・ 高齢の母親を持ち、自分の持病もあり働けない(30代・非正規雇用・100万～150万円未満)
- ・ 親ががんで治療が大変。(40代・ダブル(トリプル)ワーク・200万～250万円未満)

⑨ 孤独感

- ・ 金銭的にも精神的にも大変負担が大きく、相談もできないため、孤独感と不安が常にある。不安なくゆったりおおらかに子どもと生活できたらと思うが、なかなかかなう状況になく、いろいろな面で支援を受けられると大変有り難いと感じている。(40代・正社員・200万～250万円未満)
- ・ うつで生きていられない。(50代・非正規雇用・50万～100万円未満)

⑩ パートナーとのこと

- ・ 主人が精神疾患を患ってしまい、今後の生活が不安。(30代・非正規雇用・100万～150万円未満)
- ・ パートナーと不仲。(40代・働いていない・0～50万円未満)
- ・ パートナーから突然の生活費停止、暴力により逃げてきてから、不安な日々を過ごしている。手元の金銭は子どもたちでせいっぱいで、自分のものまでまわせず、15、6年前の服や下着を使っています。もしいただけるのであれば、少しでも新しいものを身につけてみたいと思う。
(40代・正社員・200万～250万円未満)
- ・ 養育費の件で、元夫と裁判になっており、終わりが見えず、金銭的にも精神的にも非常に辛い。
(50代・正社員・200万～250万円未満)

8.婦人科系の悩みの内容

現在生活の中で困っていることとして、「婦人科系の不調」を選択した 170 名を対象として、具体的内容を自由回答で質問している。その主な結果は次のとおりとなっている。

主な自由回答<抜粋>

●10代～20代

- ・ 生理が遅かったり、早かったりまだ不安定。(10代・働いていない・0～50万円未満)
- ・ 5ヶ月に1回くらい生理の出血がとても多く、2週間くらい続いてしまう時があり、病院に行って薬をもらうことがある。(10代・働いていない・0～50万円未満)
- ・ 無排卵月経。(20代・その他・100万～150万円未満)
- ・ 月経過多。(20代・正社員・200万～250万円未満)
- ・ 生理1週間前くらいから眠たくて動けなくなる。(20代・働いていない・0～50万円未満)
- ・ 子宮筋腫。(20代・働いていない・0～50万円未満)
- ・ PMSの症状、婦人科に受診するのを躊躇してしまう。(20代・働いていない・0～50万円未満)
- ・ 薬なしでは立ってられないほどに生理痛がひどい。(20代・非正規雇用・100万～150万円未満)
- ・ 月経期間が長い。6～7日出血するのは当たり前で、量が少ないとかではなく、10～14日間出ることもある。婦人科ではストレスによって変わることもあると言われ、特に異常はなさそう。ピルを飲んでもいいと言われたが、そこにお金をかけるならナプキンにお金をかけたほうが安いと思う。他の人より出血が長いので必然的にナプキンの消費が多い。(20代・非正規雇用・50万～100万円未満)

●30代

- ・ 産後の頻尿。尿漏れシートや生理用品が毎日必須。産婦人科外来にて泌尿器科へ通院するよう指導を受けている。(30代・その他・150万～200万円未満)
- ・ ホルモンバランスの崩れ。(30代・正社員・150万～200万円未満)
- ・ 内膜症と診断されているが、ピルで抑えている状態。(30代・正社員・200万～250万円未満)
- ・ 腫瘍。(30代・働いていない・0～50万円未満)
- ・ 尿漏れや、カンジダ再発しやすい体質なため。(30代・働いていない・0～50万円未満)
- ・ 膀胱炎など。(30代・働いていない・0～50万円未満)
- ・ 副反応とは認められなかったが、コロナワクチンを打ってから生理出血量が増えたり、出血期間が長くなったり、痛みが明らかにひどくなったり、または全く来なくなったり不順が続いている。お金がないので病院には行っていない。(30代・働いていない・0～50万円未満)
- ・ 子宮頸癌の手前で出血がかなり多い。(30代・働いていない・0～50万円未満)
- ・ 甲状腺機能の不調による月経困難症。(30代・働いていない・0～50万円未満)
- ・ PMSが毎月ひどい。精神的にも身体的にも月の半分以上はしんどい。(30代・働いていない・200万～250万円未満)
- ・ 卵巣系の疾患。(30代・非正規雇用・0～50万円未満)

- ・ 生理痛、PMS、自律神経失調症。偏頭痛があるのでピルも処方してもらえず、月の半分は体調が芳しくない。(30代・非正規雇用・150万～200万円未満)
- ・ PMS、PMDDの治療をしているが、先が見えないのも辛いし、毎月がとてもしんどい。(30代・非正規雇用・200万～250万円未満)
- ・ 量が多いので、特に仕事中は吸収力が強いものでないと大変。でも吸収力が強いものだとお金が更にかかるので毎月だとキツイ。オリモノも多いので、オリモノ用も常にないといけない状態。婦人科ではポリープはあるけど、たぶん大丈夫と言われて様子見だ。腹痛、頭痛などの症状も段々増えてきている。(30代・非正規雇用・50万～100万円未満)

●40代

- ・ 生理が月に2回くることもあるので、大変だ。(40代・その他・100万～150万円未満)
- ・ 40歳を迎えると子宮癌、乳癌などが怖い。生理前のイライラも数年前からひどく、子どもたちに当たってしまう。(40代・ダブル(トリプル)ワーク・0～50万円未満)
- ・ 更年期障害治療中。(40代・ダブル(トリプル)ワーク・100万～150万円未満)
- ・ 子宮内膜症子宮筋腫によりとても(出血が)多い。
(40代・ダブル(トリプル)ワーク・150万～200万円未満)
- ・ 疲労がたまると膣カンジダを再発してしまう。
(40代・ダブル(トリプル)ワーク・200万～250万円未満)
- ・ 筋腫があるからか、生理前2～3週間前から下腹に痛みがある。立ち上がる時に引っかかるような感じ。生理不順と貧血。(40代・フリーランス・50万～100万円未満)
- ・ 子宮頸がんの検査に引っかかってしまった。(40代・正社員・100万～150万円未満)
- ・ 年齢のためか不正出血が続いたり、痛みを感じる時がある。(40代・正社員・150万～200万円未満)
- ・ 子宮筋腫持ちで、更年期による生理不順のため出血量多い。(40代・正社員・200万～250万円未満)
- ・ 子宮頸がん、体がん共に今精密検査の結果待ち中。生理の度に差し込むような強い痛みを感じていて、婦人科を受診したところ、検査結果から要精密検査となった。また、更年期のような症状も出始めていて、心身共にとても不調。(40代・正社員・200万～250万円未満)
- ・ 授乳中のためか、更年期か、ホルモンバランスが乱れているためなのか、無性にイライラする時がある。(40代・働いていない・0～50万円未満)
- ・ 子宮内膜炎のため、出血量が多く外出するのをためらうことがある。
(40代・働いていない・0～50万円未満)
- ・ PMS、栄養失調による生理不順、子宮内膜ポリープ。(40代・働いていない・0～50万円未満)
- ・ 子宮頸部高度異形成のハイリスク型で、来月手術。(40代・働いていない・0～50万円未満)
- ・ 更年期になり生理があがる頃で数ヶ月ぶりに来る時の量や傷みがひどい。だるさ、頭痛など。
(40代・働いていない・0～50万円未満)
- ・ 円錐切除手術後、出血続くため、毎日生理用品を使っている。(40代・働いていない・150万～200万円未満)
- ・ 仕事によるストレスで筋腫が大きくなり、経血過多になってしまった。(40代・働いていない・200万～250万円未満)

- ・ 自分の体のことは後回しにしているの、生理痛が重く家事にも支障が出てくる。がん検診にも行けていない。(40代・働いていない・50万～100万円未満)
- ・ 筋腫があるので経血が多く、慢性的に貧血がある。(40代・非正規雇用・0～50万円未満)
- ・ 子宮筋腫がある。更年期障害も始まっていてつらい。(40代・非正規雇用・100万～150万円未満)
- ・ 生理痛がひどくて寝込むこともしばしば。このコロナ禍で、なかなか病院に行くこともできない。
(40代・非正規雇用・100万～150万円未満)
- ・ 更年期障害があるため子宮筋腫の治療ができない。(40代・非正規雇用・100万～150万円未満)
- ・ 6年ほど前から今の仕事を始めたが、それをきっかけにストレスで生理周期が乱れている。
(40代・非正規雇用・50万～100万円未満)
- ・ 生理不順なのか、更年期障害なのか月のほとんど出血しています(出血が無いのが数日のみ)。常にシートやナプキンが必要。(40代・非正規雇用・50万～100万円未満)
- ・ 子宮筋腫があるので、ピルを飲んで多少は改善しているが、辛い。(40代・非正規雇用・50万～100万円未満)
- ・ 私が子宮内膜症、子宮筋腫。長女は子宮内膜症。(40代・非正規雇用・50万～100万円未満)
- ・ 最近動悸がよくある。更年期の始まりかなと不安。(40代・非正規雇用・50万～100万円未満)
- ・ 更年期で生理の量が多い。めまい、頭痛が多い。(40代・非正規雇用・50万～100万円未満)
- ・ 生理がひどい。バイトは4時間立ちっぱなしなのでトイレに行くことができず、休むしかない。けれど急な休みだとバイト先にひどいことを言われ、心が折れそうになる。以前産婦人科で、子宮筋腫があるとされた。貧血もひどくてなにか関係があるのかもしれないけれどお金がないし、時間もないので放置している。しかし私が死んだらと思うと子どもが心配で、とても悩んでいる。
(40代・非正規雇用・50万～100万円未満)

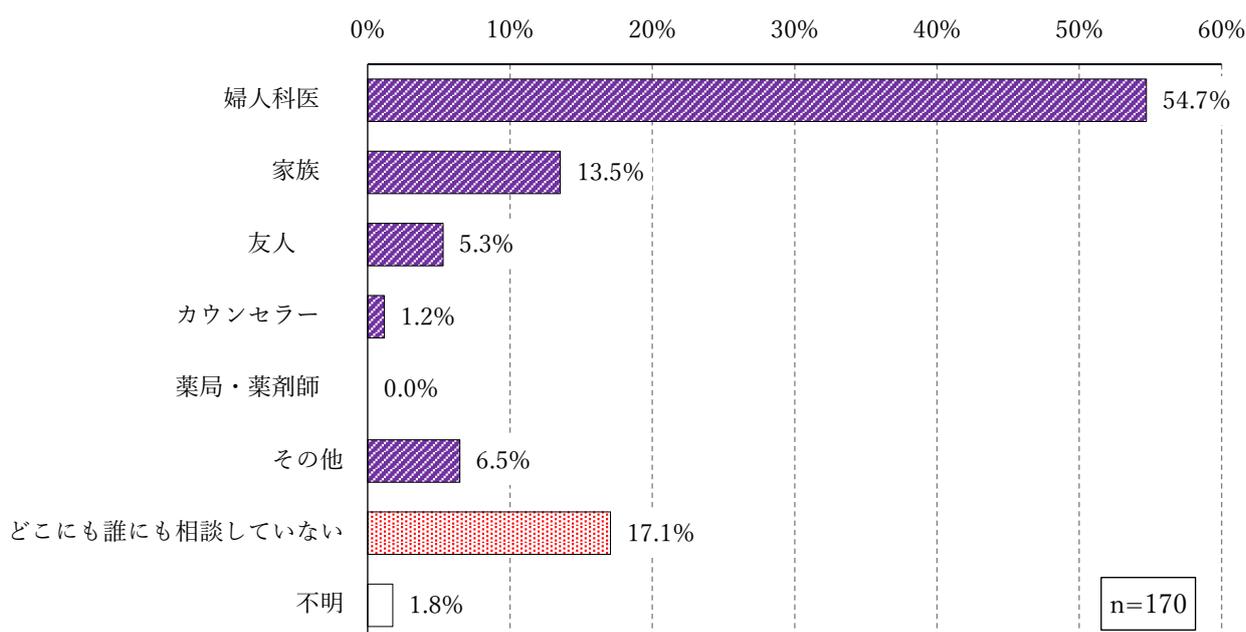
●50代

- ・ 大きな子宮筋腫があり生理不順なため、ほぼ毎日ナプキンが必要。(50代・フリーランス・0～50万円未満)
- ・ そろそろ閉経の年齢だが、毎月の生理が重く、出血が大量すぎて、ナプキンがぐっしょりとなり、衣類に漏れてしまうため、婦人科で診察していただいたところ、リングの挿入をすすめられた。リングをいれたら改善されるのか、それともまた違った悩みがでてくるのか悩ましく、判断できずに過ごしている。(50代・正社員・200万～250万円未満)
- ・ 子宮筋腫が9センチぐらい。尿漏れもするので一年中ナプキンをしないと大変。(50代・働いていない・0～50万円未満)
- ・ 年齢的なものと子どもの病気、介護ストレスなどによる生理不順で、定期的に病院に通っている。
(50代・非正規雇用・0～50万円未満)
- ・ 更年期かもしれないめまいや頭痛が頻繁にある。娘二人は生理痛が強く、生理時には頭痛やだるさが強く、辛そうだ。(50代・非正規雇用・100万～150万円未満)
- ・ 大量の出血で、生理用品が足りない。下着も洗濯が大変。(50代・非正規雇用・50万～100万円未満)

9.婦人科系の不調の悩みの相談先

現在生活の中で困っていることとして、「婦人科系の不調」を選択した 170 名を対象として、その相談先を質問している。結果をみると相談先は「婦人科医」が 54.7%で最も高く、次いで「家族」の 13.5%となっている。

図表 11：現在生活の中で困っていることで「婦人科系の不調」を選択された方にかがいます。
どこかに相談しましたか？ していらっしゃいますか？(複数可)



また「どこにも誰にも相談していない」が 17.1%と 2 割近くなっていることも重要な点である。その理由を自由回答でみると、経済的な問題や、時間的な問題、相談先がない/わからない、はずかしい、などが主な理由となっている。

「どこにも誰にも相談していない」人の主な自由回答<抜粋>

①経済的な問題

- ・ 受診や薬を使うにもお金がかかるため。(30代・働いていない・0～50万円未満)
- ・ 病院に行くお金もったいない。(40代・正社員・200万～250万円未満)
- ・ 治療に費用がかかるので。(40代・働いていない・0～50万円未満)
- ・ 病院にかかるお金がない。(40代・非正規雇用・100万～150万円未満)
- ・ 婦人科のクリニックに相談しようと思うが、お金と時間が掛かるためなかなか行けない。(40代・非正規雇用・100万～150万円未満)
- ・ 治療費が心配で。(50代・その他・100万～150万円未満)

②時間的な問題

- ・ 相談しに行く時間がない。(20代・働いていない・0～50万円未満)
- ・ 病院に行く時間がない。(30代・ダブル(トリプル)ワーク・150万～200万円未満)
- ・ 相談する暇もない。(30代・ダブル(トリプル)ワーク・200万～250万円未満)
- ・ 病院に行く時間がない。病院に行っても改善されず無駄になるだけ。
(30代・非正規雇用・150万～200万円未満)
- ・ 受診のタイミングが取れないため。(30代・非正規雇用・200万～250万円未満)
- ・ 仕事を掛け持ちしているし、子どもの世話や家事などで病院に行く暇がない。
(40代・正社員・150万～200万円未満)

③相談先がない/わからない

- ・ 相談する人がいない。(30代・ダブル(トリプル)ワーク・50万～100万円未満)
- ・ どこに相談していいかわからない。(40代・ダブル(トリプル)ワーク・50万～100万円未満)
- ・ 相談先がわからない。(40代・働いていない・150万～200万円未満)
- ・ 相談できる相手がいない。(40代・働いていない・50万～100万円未満)
- ・ 今の複雑な状況を誰にもわかってもらえないと思うから。
(40代・非正規雇用・50万～100万円未満)

④恥ずかしい

- ・ 恥ずかしい。(20代・非正規雇用・100万～150万円未満)
- ・ 恥ずかしい。自分の事は後回しにしている。(30代・ダブル(トリプル)ワーク・100万～150万円未満)
- ・ 恥ずかしい。(50代・非正規雇用・50万～100万円未満)
- ・ 話しづらい。(50代・フリーランス・0～50万円未満)

⑤その他

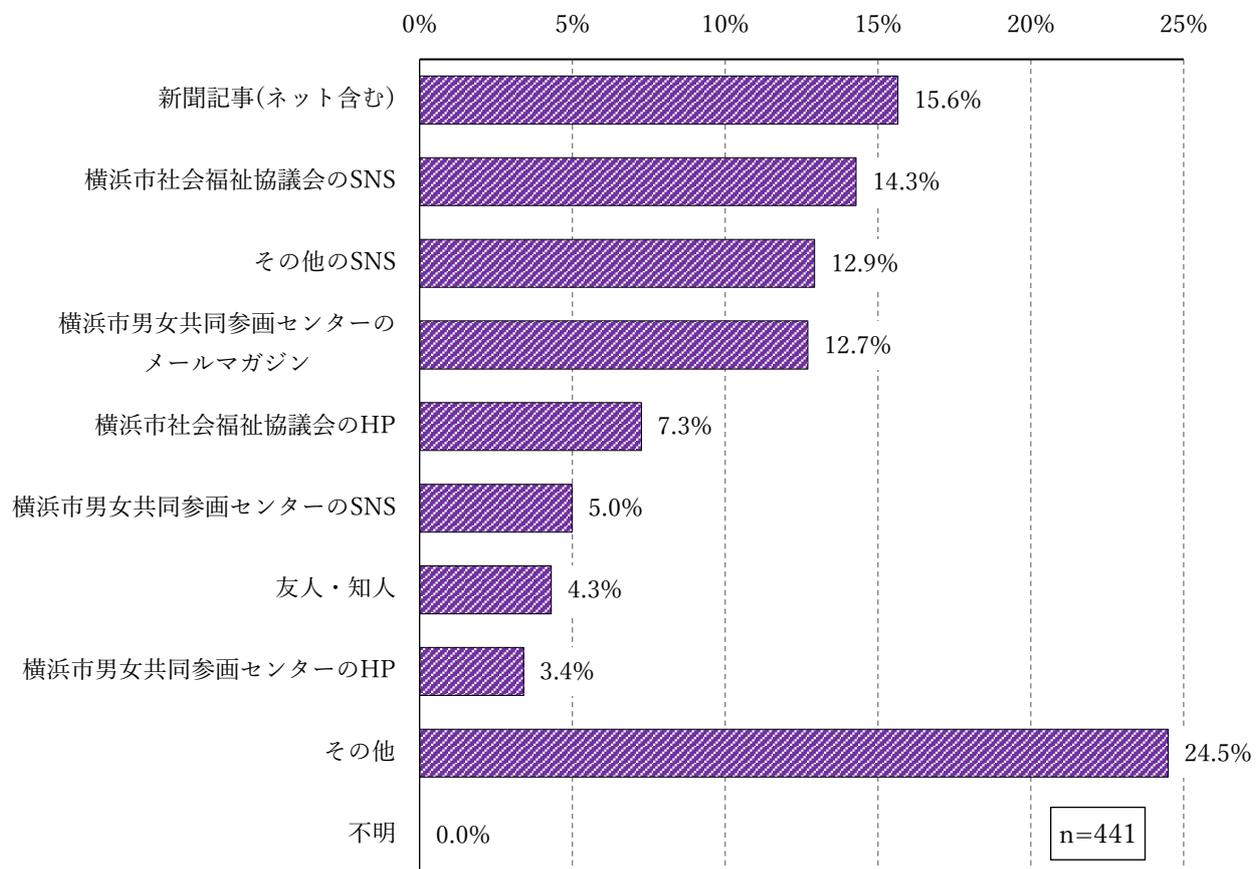
- ・ 一番は子どもを尊重するため。親が子どものプライベートなことを第三者に話しすぎるのも良くないと思うのと、慣れてくれるまで親子で体の仕組みについて話しながら、子どもにも説明して、じっくり時間をかけることも必要かと思っている。(30代・非正規雇用・150万～200万円未満)
- ・ 他のことを優先してしまい、機会を逃してしまっていることや、それが婦人科系からくる不調だと最近まで気がつかず、内科や脳神経外科を受診していた。(40代・その他・100万～150万円未満)
- ・ なかなかいろいろなことは相談できない。(40代・ダブル(トリプル)ワーク・150万～200万円未満)
- ・ 気にはなっているものの、痛みがあるわけではないので、つい後回しになってしまっている。
(40代・フリーランス・50万～100万円未満)
- ・ 生理の間我慢すれば良いから。(40代・正社員・150万～200万円未満)
- ・ 人に言ってもわかってもらえない。疲れすぎていて外出する時間も気持ちもない。
(40代・非正規雇用・0～50万円未満)
- ・ 婦人科に中学生を連れていくべきかわからず、今は市販の鎮痛剤を使用している。(50代・非正規雇用・100万～150万円未満)
- ・ 良い病院がない。(50代・非正規雇用・200万～250万円未満)
- ・ 人と話せない。(50代・非正規雇用・50万～100万円未満)

10.企画の認知経路

今回の企画の認知経路は「新聞記事（ネットを含む）」が最も高いが、割合は15.6%と2割以下となっており、多様な情報の経路で認知されていることがわかる。

認知経路で「その他」の割合が高いのも特徴的となっている。実際に「11.その他ご意見など（自由回答）」の意見の中にも、「横浜市立大学の食の支援で知った。（20代・非正規雇用・0～50万円未満）」や「この企画は横浜市母子寡婦福祉事務局のメールで知った。（40代・正社員・200万～250万円未満）」のように、多様な認知経路がみられる。また、自由回答では認知経路に関連して、認知を高めていく必要性に言及している意見も複数みられる(P.24)。

図表 12：この企画をどちらの情報で知りましたか。



世帯の状況別でみると、「自分と子ども（ひとり親）」で、「横浜市社会福祉協議会の SNS」、「横浜市男女共同参画センターのメールマガジン」、「横浜市社会福祉協議会のHP」の割合が高くなっている。

これに対して、他の属性で認知経路として最も高くなっている「新聞記事（ネット含む）」は6.6%と認知経路として割合が低くなっている。

図表 13：この企画をどちらの情報で知りましたか（世帯の状況別）

	合計	横浜市男女共同参画センターのSNS (Twitter・Facebook等)	横浜市社会福祉協議会のSNS	その他のSNS	横浜市男女共同参画センターのメールマガジン	横浜市男女共同参画センターのHP	横浜市社会福祉協議会のHP	友人・知人	新聞記事(ネット含む)	その他	不明	
全体	441 100.0%	22 5.0%	63 14.3%	57 12.9%	56 12.7%	15 3.4%	32 7.3%	19 4.3%	69 15.6%	108 24.5%	0 0.0%	
世帯の状況	ひとり暮らし	55 100.0%	6 10.9%	0 0.0%	4 7.3%	4 7.3%	4 7.3%	1 1.8%	4 7.3%	14 25.5%	18 32.7%	0 0.0%
	自分と子ども(ひとり親)	257 100.0%	10 3.9%	51 19.8%	27 10.5%	44 17.1%	4 1.6%	29 11.3%	5 1.9%	17 6.6%	70 27.2%	0 0.0%
	自分とパートナーとふたり暮らし*	16 100.0%	1 6.3%	1 6.3%	4 25.0%	0 0.0%	2 12.5%	0 0.0%	2 12.5%	5 31.3%	1 6.3%	0 0.0%
	自分とパートナーと子ども	60 100.0%	5 8.3%	4 6.7%	11 18.3%	4 6.7%	3 5.0%	0 0.0%	3 5.0%	20 33.3%	10 16.7%	0 0.0%
	自分と親	39 100.0%	0 0.0%	6 15.4%	8 20.5%	3 7.7%	1 2.6%	1 2.6%	4 10.3%	11 28.2%	5 12.8%	0 0.0%
	その他*	14 100.0%	0 0.0%	1 7.1%	3 21.4%	1 7.1%	1 7.1%	1 7.1%	1 7.1%	2 14.3%	4 28.6%	0 0.0%

*印の項目は、回答数が少ないので注意が必要

11.その他ご意見など（自由回答）

最後に「その他ご意見などありましたらご記入ください」として回答を求めた結果、次のような意見が寄せられた。

主な自由回答＜抜粋＞

①生理用品の支援／今回の企画について

- ・ 最近横浜市に引っ越してきたばかり。このような企画が素晴らしいので、横浜市に引っ越してきてよかったと思う。(20代・正社員・100万～150万円未満)
- ・ 横浜市立大学の食の支援で知った。(20代・非正規雇用・0～50万円未満)
- ・ 生理用ナプキンの配布は知っていたが、その場しのぎのようでした。今回のように、繰り返し使える商品の配布はありがたい。またフォーラムで月経カップや当商品の販売や斡旋もしてくださったら、もっと身近になって利用者が増え、結果として家計の負担が減るのではと思う。(30代・正社員・100万～150万円未満)
- ・ 生理用品配布で、サイズが大きいと嬉しい。(30代・働いていない・0～50万円未満)
- ・ とても助かる。生理用品が買えないなんてあまり人に言えないので本当にありがたい。(30代・非正規雇用・100万～150万円未満)
- ・ 生理用品の支援はとても大切なことだと思うので、今後もあると嬉しいです。(30代・非正規雇用・200万～250万円未満)
- ・ 生理用品の支援は助かる。毎月のものなのに高いので。(30代・非正規雇用・50万～100万円未満)
- ・ コロナ禍で生活、子ども等、不安なことがたくさん。(30代・非正規雇用・50万～100万円未満)
- ・ このような企画はとても良いので続けて行ってほしい。(30代・働いていない・0～50万円未満)
- ・ このような企画は本当にありがたい。コロナで仕事が減って、困っていたので。(40代・その他・100万～150万円未満)
- ・ ショーツ等継続して使用できる物は大変助かる。シリコンカップなどもあれば嬉しい。(40代・その他・100万～150万円未満)
- ・ 職場の後輩の独身女性は「下着を買う余裕もない」と話している。確かに肌着や下着は洋服と違い、リサイクル屋さんで買えないもので、生理用品同様後回しにしがちなと思う。下着の支援もあると助かる女性は結構いるかと思う。(40代・ダブル(トリプル)ワーク・150万～200万円未満)
- ・ 定期的な生理用品の補助が欲しい。(40代・ダブル(トリプル)ワーク・150万～200万円未満)
- ・ サニタリーショーツは気になっていた。エコで使い勝手も良かったら子どもにもすすめたい。(40代・正社員・150万～200万円未満)
- ・ 生理用吸水ショーツは以前から気になっていたが、高価なためなかなか手が出なかった。この企画を拝見して企画への思いとギフト内容にとっても嬉しかった。素敵なハッピーギフトを有難う。(40代・働いていない・0～50万円未満)

- ・ 今後も何かしらの救済をしていただけるとよい。(40代・働いていない・50万～100万円未満)
- ・ こういう企画をしていただけるのはとてもありがたい。(40代・非正規雇用・100万～150万円未満)
- ・ ショーツは少し高いのでありがたい企画。(40代・非正規雇用・100万～150万円未満)
- ・ このような支援はとてもありがたい。継続していただけたら嬉しいです。(40代・非正規雇用・100万～150万円未満)
- ・ いろいろと企画していただき助かる。今回のように郵送の物だと気軽に申込み、参加できるので有り難い。(40代・非正規雇用・150万～200万円未満)
- ・ 生理は私にとって突然くるし、余計な出費と感じている。娘が大きくなった時にまた必要になる。本当にお金がかかる。収入アップをいつも考えている。(40代・非正規雇用・200万～250万円未満)
- ・ 年に一度でも行政などから生理用品購入割引クーポンのようなものが発行されるとありがたい。(40代・非正規雇用・50万～100万円未満)
- ・ 更年期の年代で独身一人暮らし、非正規の方はたくさんいると思う。生活保護まで行かずとも金銭等サポートが必要。(40代・非正規雇用・50万～100万円未満)
- ・ 繰り返し使用できるならエコにもなり、経済的にも助かる。(50代・ダブル(トリプル)ワーク・0～50万円未満)
- ・ 家族4人女なので、生理用品の支援は特に助かる。(50代・正社員・200万～250万円未満)
- ・ 量が多く大きなナプキンが高い。子どもに難病があるので、突然の出血に備えてショーツを試してみたい。学費と医療費と入院代と結構な経済難だ。(50代・正社員・200万～250万円未満)
- ・ このような女性に寄り添っていただけるプレゼント企画があると、介護疲れの暗い気持ちが、とても嬉しい気持ちになる。ありがとう。(50代・非正規雇用・0～50万円未満)

②認知や認知経路について

- ・ 最近メディアで話題になっていて注目していた。生理は自分自身で解決する問題だと納得して生きてきたが、周りの人にも理解してもらうことは大切だと知り、時代は変わってきているんだなと感じた。今回生理について企画して頂き嬉しい。(20代・働いていない・0～50万円未満)
- ・ 今回たまたま知ることができたが、もう少し知る機会が増えればと思う。(40代・働いていない・0～50万円未満)
- ・ 今回、SNSで偶然発見したが、このような取り組みを知らない人はまだまだいる。SNS等もっと活用していただき、広く知られば良い。(40代・非正規雇用・0～50万円未満)
- ・ 横浜にずっと住んでいたが初めてこの企画を知った。続けてほしい。(40代・正社員・200万～250万円未満)
- ・ この企画は横浜市母子寡婦福祉会事務局のメールで知った。(40代・正社員・200万～250万円未満)
- ・ ボランティア団体で知ったので今後もお知らせいただけたら。(50代・働いていない・0～50万円未満)

③ひとり親支援について

- ・ 生理用品は消耗品であり、他の必需品と比べると、交換する頻度を落とすなどで使用枚数を減らしたりしがち。かゆみやかぶれをおこせば医療機関に通い、(今は母子家庭のため医療費の負担がないが)医療費がかかる。本人も辛いですし、時間もお金もかかると考えると、金銭的に余裕のない母子家庭にとって、このような企画はとても良い。(40代・ダブル(トリプル)ワーク・200万～250万円未満)
- ・ ひとり親を助けて下さい!!!(40代・ダブル(トリプル)ワーク・0～50万円未満)
- ・ 横浜市には大変お世話になっている。が、まだ収入の低いひとり親家庭には、特にこのコロナ禍ではまだまだきびしいのが現状。(40代・正社員・200万～250万円未満)
- ・ 大学生の親が一番経済的に苦しいと思う。大学生を抱える母子家庭を切り捨てず、母子手当を継続していただきたい。(40代・ダブル(トリプル)ワーク・50万～100万円未満)

④生徒等への支援について

- ・ 学校でナプキンを替える音を聞かれるのが恥ずかしい年頃があるので、子ども向けの吸水ショーツがあると良いと思う。(20代・その他・100万～150万円未満)
- ・ 最近の学校で生理用品の配布など、女性にしかわからない悩み事のこういう企画はとても素晴らしいと思うので、どんどんやってほしい。(20代・働いていない・0～50万円未満)
- ・ 横浜市も学校のトイレに置いて頂くと、声を上げづらい年齢の子も助かると思う。(40代・正社員・200万～250万円未満)

⑤意見・要望等

- ・ 異常な生理について相談できる場所を教えてください。(30代・働いていない・0～50万円未満)
- ・ 本当に困っていることを理解してもらえないし、本当に困っているところにお金も回ってこない。(40代・非正規雇用・0～50万円未満)
- ・ 小さい地域ごとに勉強サポートをしてくれる場所があると嬉しい。(50代・非正規雇用・100万～150万円未満)
- ・ コロナ禍で様々な状況に置かれている「社会的弱者」に注目が集まったが、非正規社員の現状や貧困家庭(そこで育つ子どもたち)、世界的にも取り上げられている生理の貧困など、実はコロナ以前からずっとずっと世の中に存在していた問題。どうかこういった状況で生きている人たちへの支援など社会全体で考え、必要に応じて支援する体制を作り上げて欲しい。(50代・非正規雇用・150万～200万円未満)

◎実施担当者所感

2021年3月に横浜市社会福祉協議会との協働事業として、「一人暮らしの女性におこめ券とサポート情報を送るギフト企画」を行った。約1000人からアンケートで生の声を集めた経験から、今回は生理関連用品のギフトを行い、長期化するコロナ下で女性の生活困難と健康課題に着目したアンケート調査を実施し、広く社会化することとした。

調査結果で私たちが特筆すべきと感じたことは以下のような点である。

- ・「毎回(生理用品の)購入に苦労している」人の割合は一人暮らしの女性が最も高かった。
- ・7割の人が3つ以上の困りごとを重層的に抱えており、とくに30代～40代の女性たちの困難が顕著であった。
- ・「自分のための出費は後回しになってしまう」と多くの人が回答していた。
- ・「婦人科系の不調」についての多くの声のなかで17%の人がどこにも誰にも相談していない。その理由はお金、時間がないことに加えて「恥ずかしい」「相談先がわからない」等が挙げられた。
- ・「コロナ禍で“社会的弱者”に注目が集まったが、非正規社員の現状や貧困家庭(そこで育つ子どもたち)、生理の貧困など、実はコロナ以前からずっとずっと世の中に存在していた問題。どうかこういった状況で生きている人たちへの支援を社会全体で考え、支援体制を作り上げて欲しい」(P.24)という意見を活かしていく必要がある。

「生理」をめぐる女性のからだのことはなかなか話しづらい風土がある中で、もっとオープンに、かつ安全に話したり聞いたりできる場を今後開きたい。また、女性の健康は社会の健康という視点に立って、気軽にからだのことを相談できる場が地域に増えていくような取り組みを、行っていきたいと考えている。

Ⅲ.資料

1.申し込みフォーム

生理関連用品ハッピーギフト³

～コロナ下で生活困難をかかえる横浜市在住の女性にお届けします

ご応募の方は下記の質問にご回答ください。

いただいた回答の内容については個人が特定できないかたちで集計し、「女性たち 250 人の困りごと」等として、発表させていただくことがあります。ご了承ください。

※いただいた個人情報については厳重に管理し、本企画の商品発送、および今後実施する横浜市男女共同参画センターの事業、横浜市社会福祉協議会からの生活に役立つ情報提供等のご案内以外には使用いたしません。提供に同意いただける場合は、次にチェックを入れてください。

同意します

1 あなたの年代を教えてください。

10代

20代

30代

40代

50代

2 あなたの2021年の手取り年収を教えてください。

0～50万円未満

50～100万円未満

100～150万円未満

150～200万円未満

200～250万円未満

※これ以上の方は今回対象としておりません。

3 あなたの働く状況を教えてください。

働いていない

非正規雇用

フリーランス

ダブル(トリプル)ワーク

正社員

その他()

³ 実際のフォームは Google Form を利用して作成しており、イメージが異なる。また、(サイズや住所・氏名・連絡先など)ギフトの申込部分については、省略している。

4 あなたの生活している世帯の状況を教えてください。

- ひとり暮らし
- 自分と子ども(ひとり親)
- 自分とパートナーとふたり暮らし
- 自分とパートナーと子ども
- 自分と親
- その他()

5 生理用品を買うのに苦労したことがありますか。

- ない
- 1~2回ある
- 3回以上ある
- 毎回
- わからない

6 現在生活の中で困っていることは次のどれでしょうか。(複数可)

- お金・家計のこと
- 食のこと
- 仕事のこと
- 住まいのこと
- 病気や体調のこと
- 婦人科系の不調
- 子どものこと
- パートナーとのこと
- 親のこと
- 孤独感
- その他()

7 上記5でチェックを入れた項目で一つ以上、とくに困っている状況や、生理用品が購入しづらい状況、ほしいサポートなどについて、具体的にお書きください。

8 6で「婦人科系の不調」を選択された方にうかがいます。

A どんな悩みをお持ちですか。差し支えない範囲でご記入ください。

2.メディア掲載一覧

日付	媒体/URL	見出し
2021年 11月24日	PR TIMES https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000004.000086305.html	【寄付金募集】横浜市内で“生理の貧困”への対応に取組みます～横浜市男女共同参画推進協会×横浜市社会福祉協議会～1,000,000円を目標に
同上	横浜市社会福祉協議会 (youtu.be チャンネル) https://youtu.be/nmw8zRR4guc	ニッパツ横浜 FC シーガルズが応援メッセージ
12月2日	タウンニュース https://www.townnews.co.jp/0106/2021/12/02/602269.html	「生理の貧困」を支援へ 市社協など、寄付金募集
12月7日	朝日新聞 横浜版	「生理の貧困」支援へ寄付募集
12月24日	神奈川新聞 https://www.kanaloco.jp/news/social/article-784624.html	#metoo #youtoo 「生理の貧困」支援、吸水ショーツ無償で 横浜市社協など
2022年 1月6日	タウンニュース (web 限定記事) https://www.townnews.co.jp/0114/2022/01/06/607951.html	フォーラム南太田 吸水ショーツを無料提供 市社協と「生理の貧困」支援
1月21日	神奈川新聞 https://www.kanaloco.jp/news/government/article-809390.html	#me too #you too 生活困窮の女性に生理用品 横浜市社協などが 250 人に
1月13日	タウンニュース (→次ページに全文掲載) https://www.townnews.co.jp/0114/2022/01/13/608353.html	フォーラム南太田 生理用品を無償提供
1月18日	横浜市社会福祉協議会 ヨコ寄付サイト https://yokokifu.jp/yokokifu/579/	【活動報告】女性への支援 「生理の貧困」への支援
2月2日	リネ プレスリリース https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000009.000079561.html	【生理の貧困への対応プロジェクト】横浜市 生理の貧困への対応プロジェクトに Neith 社が参画

3.タウンニュース 2022年1月13日（折込およびウェブ）

フォーラム南太田 **生理用品を無償提供** コロナ禍の女性を支援

社会



フォーラム南太田内にある「めぐカフェ」のマスコット「めぐちゃん」

フォーラム南太田（男女共同参画センター横浜南）と横浜市社会福祉協議会は、新型コロナウイルスの影響で生活が厳しく、生理関連用品のサポートを求める女性を対象に、女性起業家が開発した吸水ショーツを無償で提供する取り組みを行っている。「生理の貧困」が社会的に認知される中、フォーラムは困難を抱える女性を支援していく。

コロナ禍で生活が困窮する人が増えたことで、経済的な理由などで生理用品を購入できない「生理の貧困」が認知されるようになった。

困難が顕在化

フォーラムと市社協はコロナ禍以降、一人暮らしの女性にお米券を配布するなどの支援を行ってきた。昨年7月、フォーラム南太田を含む市内3カ所の男女共同参画センターは、生理用品を施設で無償配布し、予想以上の反響があった。それを受け、顕在化してきた女性が抱える困難の支援へ向けて、生理用品の無償提供を決めた。

無償提供企画を「生理関連用品ハッピーギフト」と名付け、昨年12月に希望者を募ったところ、ネットを通

して多くの申し込みがあった。好評だったことを受けて、第2弾を1月から始めた。

提供されるのは女性起業家が開発した「サニタリー吸水ショーツ」。フォーラムは「漏れを気にしないで1日過ごせるもの」といい、洗濯して繰り返し使用できるタイプだという。提供は250人限定で、応募多数の場合は抽選となる。

切実な声届く

第1弾の応募者からは「生理用品がなかなか買えないので、繰り返し使えるショーツを試してみたい」(10代)、「コロナでアルバイトができず、高齢の親は借金があり、十分なサポートが期待できない」(20代・学生)、「子育てにお金がかかって、自分の物を買う余裕がない」(20代・主婦)といった声が聞かれた。さらに、ひとり親の女性からは「娘が2人いるので、生理用品がすぐになくなる」(30代)、「心の病気で外で働けず、コロナで自宅での仕事もなくなった。娘が大量に生理用品を使用するので、自分は極力取り替えないようにしている」(40代)という実情も報告された。

フォーラムは「コロナは、収入の減少や失業など、特に女性への影響が大きいことが明らかになっている」とし、今回の企画が「女性が抱えるさまざまな困難の一助になれば」という。応募者にアンケートを行い、生活課題やニーズも汲み取る。また、フォーラムと市社協は、今回の生理用品購入の際にも呼び掛けた寄付金を引き続き募り、「生理の貧困」に直面する女性を支援する。

希望者は専用フォーム (<https://forms.gle/9mugRtjouQMKtUdz6>) から申し込む。締切は1月25日正午。ショーツは2月下旬にレターパックで郵送される。

問い合わせはフォーラム南太田【電話】045・045・714・5911

《ご協力に感謝いたします》

- ・ 社会福祉法人横浜市社会福祉協議会(協働団体として)
- ・ ニッパツ横浜 FC シーガールズ
- ・ 寄付者のみなさま
- ・ アンケートに回答くださった 441 人の女性たち
- ・ 各メディアおよび SNS 等で拡散くださったみなさま
- ・ 株式会社 Neith (生理関連用品の特別価格提供)